

事例共有4

①タイトル	血尿を止めるために介入したこと			
②カテゴリー	☐ 処方薬の変更・追加・増減量 ☐ 用法・用量・使用方法 ☐ 副作用・相互作用 ☐ 服薬アドヒアランス不良 ☒ その他			
③患者背景	年齢	80代後半	性別	男性
	現病名	高血圧症、心筋梗塞、前立腺疾患	診療科名	内科
④処方情報	ミカルディス錠40mg 1T分1朝食後 クロピドグレル錠75mg 1T分1朝食後			
⑤来局時の患者情報	「10年前、前立腺の治療で放射線埋め込み手術後、5～6年前から血尿が断続的に続いている。手術元の医院から血尿は普通だと言われ、ずっと放置していた。」			
⑥フォローアップの理由とプラン	【プラン1】高齢者の長期出血リスク回避：貧血、尿路感染症が心配。内科Drに血液検査依頼、クロピ休薬検討依頼 【プラン2】手術元の医院から血尿を放置されている：血尿が続くのはおかしい。手術元に確認＆再受診依頼 【プラン3】セルフメディケーション能力の向上：血尿を誘発しない知識が必要。患者へ出血直前の行動記録を励行するよう指導			
⑦フォローアップ内容	1～2週に1回→月1回、電話にて、血尿の頻度や程度、何をしたあとに血尿が出たかを確認。 内科Dr：血液検査実施なし、クロピ継続指示。「血尿の原因は泌尿器だと思うので内科でできることはない。クロピはやめないで。」 手術元Dr：再受診拒否「術後に出血が続くのは普通です。もう10年前のことなのでカルテもなく、再受診でフォローできる時期を過ぎています」			
⑧処方医へのフィードバック内容	☐ フィードバックしなかった ☒ フィードバックした（内容： 上記内容 ）			
⑨やってみた感想	- 薬剤師の親身な介入により患者が別の泌尿器科を受診し、放射線埋め込み治療の後遺症の出血性膀胱炎であることが判明。クロピは中止となり、専門医療機関にて前立腺の手術を実施。血尿は止まった。 - 患者から「あなたのしていること（フォローアップ）はお金のかかることなんじゃないですか？ いくらでもお支払いします。あなたじゃないと、話がよくわからなくて…。あなたに会えるとね、生きる気力が湧いてきます。」			